



木栄会通信

木製駐車場の施工見学レポート

国産木材の新しい活用法として様々な取り組みが各地で広がっており、が、今回そういった取り組みのひとつである木製舗装駐車場の施工見学会に参加しました。

木製舗装駐車場とは、いままですアスファルトやコンクリートが使用されていた駐車場の木材で舗装する駐車場です。使用される木材は治山事業などで使用実績のある「O&Dウッド」という高耐久化木材となっています。この木材は独自の保存処理がされており30年以上の高耐久性をもつと言われております。今回は実際に施工されている物件の見学をすることができました。九州では初めての事例になるそうです。一般社団法人 センソイレブ 記念財団が運営する九重ふるさと自然学校に新設される駐車場の特別に見せていただきました。



九重ふるさと自然学校の周辺は自然に囲まれ、草原や田んぼ、雑木林など多種多様な植物や生き物を見ることが

できます。木製駐車場はこの自然環境によくマッチするなと感じました。



駐車場の施工は想像しているよりも静かな環境で行われていました。使用されている重機も小型のバックホーとダンブのみで材料も軽量なため思いのほかサクサクと進んでいる印象を受けました。

駐車場1区画に使用する木材はおよそ1mで木材の使用量がとても分かりやすくなっています。また、使用されている木材は高耐久処理が施されていますがいわゆる一般流通材が使われており、地域産材で生産するときも地場工場に対応しやすいようにしてあります。

内装材と異なり、予算に応じた区画の設定ができる点や使用する材積の多さ、受け入れられる原木規格など、国産材の利用推進と地域産材の利活用が行いやすいといった工夫を感じます。施工についてもバックホーとダンブ、木杭を打つ機材だけといった簡潔さも有り

10月号
Vol.147

毎月7日発行



発行所

株式会社 伊万里木材市場木栄会事務局

〒八四九一〇二五二

佐賀県伊万里市山代町楠久津一四五番二〇

TEL 〇九五五二一〇二一八三 (代表)

FAX 〇九五五二一八二八五五

地域内だけで完結できるようになっています。完成した駐車場はいかにも木材といった趣で自然学校においては周辺環境との調和を感じさせます。逆に都会にこの駐車場があれば非常に目立つでしょう。

都市部や内装の木質化は今現在活発に推進されており、しかしながら、非住宅や内装材には様々な法的制約や製品加工が県内だけで完結できないといったハードルもあります。今回視察した木製舗装駐車場は、使用していたただく方には駐車場という最も前面に出る設備が木製という特別感や区画ごとに整備できる検討のしやすさといった利点があるように思いました。

新しい木材利用の現場を見ることで、大変有意義でした。



木製舗装があるといった様子になるかもしれません。一層の普及促進を願っております。
(経営管理部 Y課長)

「丸太割機」販売中!!

チップ生産に必須となる破砕機、様々な機種があり投入可能なサイズも色々とあります。主に使用する材料も未利用材となり安定した生産の為サイズの均一化がポイントであり、悩みとなりません。現在の対応としては、専用のアタッチメントを装着した重機にて割る作業となっていますが、今回弊社にて丸太割機という木材クラッパブルがあれば対応出来る、省力化に貢献できるアイテムを開発し、販売を行っています。ご購入頂いたお客様からは「好評いただいております。まずは弊社ホームページにてパンフレットと動画が観れますので是非見て頂いて興味ある方は問い合わせただければ幸いです。

(経営管理部 Y課長代理)

丸太割機



伊万里木材市場
TEL 0955-210218
FAX 0955-218285
www.imarimokuzai.co.jp

木材動向①

◎素材

9月全社素材取扱量は44,000.0㎡となりました。

9月は、九州全体の出材状況をみては順調だったと思えます。しかし、相変わらず製缶動向が悪く、製品在庫が多くあると聞きます。丸太については、特に松丸太価格が急落する事となり先月まで前向きだった入札風量も下を向く形となりました。10月以降も続きそうな雲囲気があり、川上側も厳しい時期となりそうです。例年のことではありませんが、伐採作業が難しい梅雨時期や夏場は出材が減少し丸太価格は高騰して、伐採作業がしやすい時期になると出材が多くなり価格は下落する事となり、改めて需要と供給バランスの難しさを痛感します。

◎松丸太は、
4m161-18cm直21,000円/㎡
4m161-8m小曲20,100円/㎡
4m202-22cm直21,000円/㎡
4m202-22cm小曲19,400円/㎡
と、前回市と比べ5000~1,000円/㎡下げとなりました。
元木の最高落札額は、3m44cm38,000円/㎡でした。

◎杉丸太は、
4m41-60cm直15,000円/㎡
4m182-22cm直15,000円/㎡
4m182-22cm小曲13,000円/㎡
4m242-28cm直15,000円/㎡
4m242-28cm小曲13,000円/㎡
と、杉丸太の価格は安定しております。

◎杉丸太は、

10月に入り朝晩はだいぶ涼しくなってきましたが、日中はまだまだ残暑が厳しく、四季を感じる期間が短くなっているように感じます。人も過しやすい気候ですが、虫もまだまだ活動中です。虫害もまだありますので、早めの出荷・引取のほどよろしくお願いたします。

さて、来月11月28日には木栄会協賛創立65周年記念市が控えております。イベントなど企画段階ですが、お客様に楽しんでいただけるように企画集荷に努めて参ります。

企画決定次第 各部よりご案内に伺いますのでよろしくお願いたします。
(本社素材課 T課長)

◎製品

厳しい暑さが過ぎ去り、すっかり爽やかな10月の空になってきました。が、日中はまだまだ暑い日が続いております。朝晩この寒暖差で体調を崩しやすいと思われまますので、体調管理を行って下さい。また、今後はコロナやインフルエンザや感染症が増加していく恐れがある為、感染対策も行っていきましょう。

9月の当市場の相場は、

- ヒノキGR土台 等上4m1-05X1055.5,000円/㎡
- ヒノキGR土台 1等上4m1-20X120(5)ヒノキGR土台1等上4m1-20X120(5) 5,000円/㎡
- ヒノキGR土台A4m1-05X1058.0,000円/㎡
- スギGR母屋角1等上38,000円/㎡
- スギGR母屋角特1 65,000円/㎡
- スギGR平角特1 4m1-05X10180(1)20厚同(1) 40,000円/㎡
- スギGR平角特1 4m1-05X150180(1)20厚同(1) 67,000円/㎡
- スギGR小割1 30X45,45X45,45X60(1)特1プレーナ148,000円/㎡
- スギGR間柱 30X105,45X105(1)特1プレーナ152,000円/㎡
- スギ野地板 2m1-2X小幅33,000円/㎡
- スギKD柱 3m1-05X105A品2,000円/㎡
- スギKD間柱 30X105,45X105(1)72,000円/㎡
- スギKD間柱 30X105,45X105(前月比横は)スギAD間柱 30X105,45X105(64,000円/㎡)
- スギKD小割 30X45,45X45

45,45X60(68,000円/㎡)75,000円/㎡(前月比横は)となっておりまます。

住宅価格の高騰で着工数の減少している為、プレカット工場の稼働も低調になってきており、国産構造材や外材構造材の荷動きが悪い状況です。大や材リフォーム物件も減少傾向で、工務店や材木店の仕事量が少なくなっています。

今後とも荷の動きが良くなる話はない為、何かしらの対策が必要だと思えます。

当社、11月28日(金)は木栄会協賛創立65周年記念市を開催致します。今後、イベントも企画して行いますので多くの皆様のご来市の程を宜しくお願い致します。

(製器建設部 U主任)

営業所だより

大分営業所

10月になり残暑もまだまだありますが少しずつ気温も落ち着いてまいりました。近年は春秋の季節が2か月もないのでは々と体感では思っています。個人的には秋の涼しい時期が一番好きなのですが皆さんはいつの時期が好きでしょうか？

9月の取扱数量は、10,333.33㎡

10月の市況

◎スギ4m1-13cm込み12,500円/㎡、小曲14,000円/㎡、18cm直14,000円/㎡、小曲122cm直14,000円/㎡、小曲1

◎スギ4m1-13cm込み12,500円/㎡、小曲14,000円/㎡、18cm直14,000円/㎡、小曲122cm直14,000円/㎡、小曲1



3,000円/m²、24×30cm直14、5000円/m²、小曲1-3、0000円/m²、32cm直14、0000円/m²、小曲1-2、5000円/m²、小曲1-1、6000円/m²、小曲1-2、5000円/m²、300cm直14、0000円/m²、小曲1-2、5000円/m²

◎スギ3m4cm直材16,000円、小曲14、0000円/m²、16×28cm直16、0000円/m²、小曲1-2、5000円/m²、300cm直14、0000円/m²、小曲1-2、5000円/m²

◎ヒノキ4m12×13cm直15,000円/m²、小曲1-3、5000円/m²、14cm直22、0000円/m²、小曲20、6000円/m²、16×18cm直21、2000円/m²、小曲20、2000円/m²、2000円/m²、22cm直21、2000円/m²、小曲19、7000円/m²、24×28cm直22、6000円/m²、小曲20、9000円/m²

◎ヒノキ3m16×22cm直材19,000円/m²、小曲17、5000円/m²、24×28cm直材21、4000円/m²、小曲19、5000円/m²

松材は、出材も多くなり値が下がってきておりなんとか2万円台をキープしている状況です。杉材はシステム販売がメインなので安定的に販売しております。松材はもう一段値が下がっているのではないかと考えられます。最近の夕立で虫の影響が出ていますので早めの搬出を引き続きよろしくお願ひ致します。

ここで話は変わりますが、前回大分営業所では虫の時期や発生原因について話しましたが今回は雨について書きたいと思います。(一)数年の雨量は凄く多いと感じている方が多いと思います。

私もそう感じていたのですが調べたところによると過去10年間の年間降水量を見て毎年増減はあるものの数年前から極端に降水量が増えはじめていた。ではどうして雨量が多くなったのか、私の理解ですが、データでみる都道府県別雨量では測れないものと細かく市町村レベルまで掘り下げると同地的大雨洪水警報が多いと思います。真夏の異常な気温、海や川や地面から蒸発し、大量の水蒸気に変わりゲリラ豪雨やスコールのような短時間で集中的な大雨になり一部地域で災害が起っているのではないのでしょうか。

山の作業道の水切りなど雨に備えるよう現場には伝えていた次第です。この雨で搬出がなかなかできず山に丸太を取り行けない状況が続いています。雨は自然現象です人間にはどうすることもできませんが虫が入らないよう出来る限り努めてまいります。皆様もゲリラ豪雨など急な大雨がありますので十分注意してお過ごしください。(大分営業所 Y所長)

『木のやさしさ…人へ未来へ。』

森林整備課の仕事をしていますと美しい森林と出会うことがあります。胸高直径60cmを超え樹高30mに迫る真っ直ぐな杉が堂々と一面に拡がっている様子は壮麗



です。また樹齢70年を超える松の森では幹々がいやにおとなび立ち並んでいて、木々が静かに語りかけてくるような静謐さがあります。そうした森林に出会うと、伐採した後再び美しい森林に於て未来へ繋げることが出来るだろうかと思ふ。それで私は、こうした山林がどのように育林されてきたのかを山主に尋ねることにしています。傾聴する中で共通しているのは地域の山林に対する知識量と山に入る回数多きであり、中には子どもの頃から山の境界を歩いたり下刈りに従事したりして自ずと地域の山の知識を得ながらそれに則した施業に携わっている方もおられます。田中淳夫(森林ジャーナリスト)も著書『絶望の林業』の中で昔から山村に住み山仕事をしてきた人々は、自分の山でなくとも山や森のことをよく知っている。あそこは崩れやすいとか、あの森はそろそろ間伐しないと…と述べ、山林への深い知識とそれに伴った施業が森林育成に欠かせない本質であると指摘しています。

さらに森林を未来へ繋げるため考慮したい点は、木を育てるには時間がかかるという事です。

例えば、大分農林水産研究指導センター(林業研究部)の青田勝氏が2025年に行った報告には、大分県の森林は齢級に偏りがあり30年後には伐採適齢期である35年生から50年生の人工林資源が少なくなるこ

とが想定されるため、成長が早く強度もスギと同等とされるコウヨウザンに注目し様々な用途に利用することを検討している。ごあります。

また、佐賀県林業試験場が開発したサガンズは30年で収穫できるというこれまで直接操作できなかった成長速度の領域に踏み込んだ研究成果であるが、近年立地環境に忠実に成長速度が異なることが明らかになり立地環境の影響を考慮した成長予測ができるよう研究を進めている。両者ともに木の成長にかかる時間を意識した取り組みであり、こうした分野の情報を進取に受け入れ、継往開来と育林に繋げて行ければと考えます。

『木のやさしさ…人へ未来へ。』このキャッチコピーは上述した本質主義や本質観取に通じ未来へと拡がる素敵なキャッチだと思ひます。私も森林整備を通して美しい森を未来へ繋ぐ一端に預かれるなら幸甚です。

(大分営業所森林整備部 E)

福岡県北九州市で開催された北九州昭和夏祭りに参加してきました。今回で2回目の開催となる昭和夏祭りは2025年8月15日から8月24日までの10日間毎日行われるお祭りです。北九州市の中心、小倉北区にある勝山

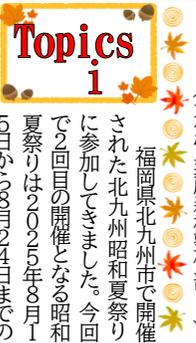
とが想定されるため、成長が早く強度もスギと同等とされるコウヨウザンに注目し様々な用途に利用することを検討している。ごあります。

また、佐賀県林業試験場が開発したサガンズは30年で収穫できるというこれまで直接操作できなかった成長速度の領域に踏み込んだ研究成果であるが、近年立地環境に忠実に成長速度が異なることが明らかになり立地環境の影響を考慮した成長予測ができるよう研究を進めている。両者ともに木の成長にかかる時間を意識した取り組みであり、こうした分野の情報を進取に受け入れ、継往開来と育林に繋げて行ければと考えます。

『木のやさしさ…人へ未来へ。』このキャッチコピーは上述した本質主義や本質観取に通じ未来へと拡がる素敵なキャッチだと思ひます。私も森林整備を通して美しい森を未来へ繋ぐ一端に預かれるなら幸甚です。

(大分営業所森林整備部 E)

福岡県北九州市で開催された北九州昭和夏祭りに参加してきました。今回で2回目の開催となる昭和夏祭りは2025年8月15日から8月24日までの10日間毎日行われるお祭りです。北九州市の中心、小倉北区にある勝山



とが想定されるため、成長が早く強度もスギと同等とされるコウヨウザンに注目し様々な用途に利用することを検討している。ごあります。

公園を会場として開催されるお祭りや公園だけではなく周辺にあるリバーウオーク北九州や紫川にも協賛企業の提灯が飾られる周辺二帯をつかった地域一体での取り組みです。

今回、昭和三十九年の視察を行った理由は、お祭りの中心となる盆踊り会場にある巨大やぐらを視察するためです。このやぐらは北九州市産材ツリーハイウォード材で建築されており弊社を含めた5社で構成される北九州市木材利用促進協会で作る「KITAQ WOOD」ブランドによる木材が使用されており、やぐらは足場で作られたデッキの上に建っており多くの提灯に囲まれ大変良い仕上がりでした。昼間でも大きく感じるやぐらでしたが、お祭りの本番暗くなつてからは提灯が点灯されより一層存在感を感じる出来栄となりました。

自分たちが視察を行った日は平日でしたがお祭りには多くの家族連れや若者が来場しやぐらを中心に盆踊りを楽しんでいました。

供給した木材がこのようなイベントで多くの人に見てもらえる機会を得たことは大変うれしく思っています。また、このように多くの若者や家族連れがイベントに来る様子は地域の活力を感じさせます。

お祭りを通じて北九州市の森林や木材利用に多くの人が興味を持っていただければと思います。

ちなみに、KITAQ WOODで作

全国利用関係別	戸数	前年同月比	
合計	60,275	-9.8%	5か月連続の減少
持家	17,532	-10.6%	5か月連続の減少
貸家	26,585	-8.1%	5か月連続の減少
全分譲	15,819	-8.2%	5か月連続の減少
マンション	6,148	-18.0%	5か月連続の減少
戸建	9,476	-1.1%	5か月連続の減少
全国工法別	戸数	前年同月比	
木造	37,046	-6.7%	5か月連続の減少
在来軸組	28,345	-6.5%	5か月連続の減少
2×4	7,792	-6.3%	5か月連続の減少
木質プレハブ	909	-16.4%	2か月連続の減少

傾向が続いている。(左表のとおり)

工法別でみても、すべての工法で減少の減少となった。

木材動向②

住宅着工統計

2025年9月30日発表 8月分
出典：建築着工統計調査報告

◆概況コメント

8月の新設住宅着工は、持家貸家分譲住宅が減少したため、全体で前年同月比9.8%の減少となった。また、季節調整済年率換算値では前月比0.1%の減少となった。

られたやぐらは解体可能で1回だけの利用ではなく継続的に利用していけるそうです。これからも多くの人が楽しめるお祭りのシンボルとなってもらえば大変うれしく思います。

北九州市では10月にも黒崎で秋祭りが開催されるのでぜひ北九州の秋をお楽しみください。

(経営管理課 課長 渡辺 義隆)

10月の市日のご案内

市日: 10月28日(火)

皆さまの来市を心よりお待ちしております。

締日: 11/11(火)

市日: 11/28(金)

木栄会協賛創立65周年記念市

おかげさまで 創立65周年を 迎えます!

佐賀県伊万里市山代町楠久津145番30
TEL.0955-20-2183 FAX.0955-28-2855
ホームページ https://www.imarimokuzai.jp

◎編集後記◎

◎ 今年の中秋の名月は、10月6日でした。ご覧になられたでしょうか?旧暦の8月15日なので、今のカレンダーで考えると、毎年、9月後半から10月初め頃になるそうです。そして、中秋の名月=満月とは限らないらしく、満月は翌日の7日でした。新月から満月まで15日として数えますが、実際は、月の軌道は楕円なので、最大で15.6日、最小で13.9日。15日より早く満月がくることはまれで、2027年はそれにあたるらしく2027年は9月15日です。ちなみに、来年は9月25日です。月の引力が潮汐を引き起こすことは知られていますが、実は、植物生物にもかなり影響を及ぼしているというサイクルを取り入れた持続可能な農業手法「バイオダイナミック農法」なるものもありました。昔からそのような農法をとられていたところもあるのですが、実際科学的にも実証されています!それによる1-満月の時期は、花が咲き、実をつけやすくなり、新月の時期は栄養生長が盛んになり、根の成長が促されるそうです。より具体的には、種まきは満月の5日前から、発芽率が向上するし、書虫防除は、満月後に行くと効果的。また、収穫は、満月直後に行くと作物の風味や栄養価が高まるらしいとのこと。自然とともに生きること、こういう事なのかも思っています。

うちの食べられ放題の野菜たちに、書虫防除をするなら満月の後の今がチャンスなのかも!!